



日本育療学会 第21回学術集会

日時 2017年8月26日(土)・27日(日)

場所 ホテルグランヴェール岐山
(岐阜市柳ヶ瀬通6丁目14番地)

学術集会長 大見サキエ
(岐阜聖徳学園大学 看護学部)

学術集会ホームページ <http://ikuryo21.com>



絵: 森 邦生

携帯用QRコード



改めて、医療と教育の連携 ～もう一步前に進めるために～

学校への対応に困っていることはありませんか？

病気の子どもの復学支援体制を構築するためには、保健・医療・福祉等の多職種が連携して、進めていく必要があります。最近では、通常学級における病気の子どもの在籍は珍しくなく、医療的配慮や緊急時対応、入退院・復学等の対応で学校の先生方との連携も必要となってきています。

今回は、**医療と教育の連携を主に**、当事者のニーズに沿った連携のあり方を考えていきます。**復学支援を担う医師や病棟の看護師はもちろんのこと、地域との連携の窓口である外来勤務の医療・福祉関係者**の方々の多数のご参加をいただきたくお願いします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

1日目 8月26日(土) 12:00より受付開始

◆学術集会長講演

病気療養児の復学支援体制の構築
—現状と課題—

大見サキエ(岐阜聖徳学園大学 教授)

◆特別講演

日本育療学会は何を求めてきたのか。そして
これからは、何を求めていくべきか～私案～

横田 雅史(帝京平成大学 教授)

2日目 8月27日(日) 8:30より受付開始

◆基調講演

小児がん診療と長期入院患児への学習支援、
復学支援の試み —名古屋大学病院の場合—
高橋 義行(名古屋大学大学院 教授)

◆シンポジウム

がんの子どもの復学支援から連携を探る

—当事者の支援につなげるために

医療・学校の現場の状況をもっと知ろう！—

シンポジスト: 医療者(看護師)、学校教員、当事者家族

コメンテーター: 医療者、学校教員

※プログラムの詳細は大会HPをご参照ください

事務局 岐阜聖徳学園大学看護学部 前田尚子
〒501-6194

岐阜県岐阜市柳津町高桑西1丁目1

E-mail ikuryogifu21@gmail.com

主催 日本育療学会

後援 文部科学省、厚生労働省、岐阜県・市教育委員会
公益社団法人岐阜県看護協会、一般社団法人日本小児看護学会、全国特別支援学校病弱教育校長会 他

